

平成27年度 あきたスマートカレッジ (報告)

D: あいLOVEあきた

会場：秋田県生涯学習センター3階 講堂ほか

【趣旨】ふるさと秋田を愛し、各分野で活躍している元気な秋田県人から話を聞き、ふるさとの魅力を探る講座です。

回	期 日	テーマ	講 師	参加者数
1	5月16日 (土)	二つの県民歌 ～「秋田県民歌」「県民の歌」制定の背景を探る～	山形大学地域教育文化学部 教授 佐川 馨 氏	34
2	5月23日 (土)	“見えない火山”が生んだ大地と人々の暮らし ～ゆざわジオパークの魅力とは～	湯沢市ジオパーク推進協議会ガイド部会 会長 加賀美 典明 氏	39
3	6月13日 (土)	秋田のことば あれこれ	秋田大学名誉教授 佐藤 稔 氏	41
4	6月27日 (土)	【移動学習】まるごと湯沢ジオパーク 大地と歴史に触れる旅Ⅰ～地下資源の歴史を中心に～	ゆざわジオパークガイドの会のみなさん	19
5	7月11日 (土)	イスラム社会の栄光と悲惨 ～宗教・政治・暴力～	日本赤十字秋田看護大学 非常勤講師 瀬田川 昌裕 氏	48
6	7月25日 (土)	【移動学習】まるごと湯沢ジオパーク 大地と歴史に触れる旅Ⅱ～地熱の恵み～	秋田県立湯沢翔北高等学校商業クラブのみなさん ゆざわジオパークガイドの会のみなさん	15
7	9月12日 (土)	地方再生の視点と方法	NPO法人秋田移住定住総合支援センター 理事長 荒谷 紘 毅 氏	14
8	10月10日 (土)	パキスタン・モンゴルへの支援を通して感じたこと ～小児医療・子どもの心～	JICA帰国専門家秋田県連絡会 伊藤 晴 通 氏	19
合計				229名

各分野で活躍している元気な秋田県人からさまざまのお話を聞き、新たな元気を得て、秋田をますます好きになりました。ここでは4回目の移動学習について報告します。

開催日の6月27日(土)は朝から風雨が強く、予定通りの内容で開催できるか懸念される天候でした。この回のテーマは「地下資源の歴史」で、かつて湯沢で産出されていた「関口石」「院内石」を中心に鹿角や秋田、由利本荘からも受講者が集まり、19名の参加で講座が開かれました。事前学習として、集合会場の湯沢市役所で30分ほど座学を行った後、さっそくバスに乗って見学箇所を回りました。

市場関係者から日本一の品質と評価される三関さくらんぼは地形と土壌のたまものであること、耐火・耐水・耐圧に優れて重用された院内石を産出する院内地区は太古の火山活動によるカルデラであること、院内石が採掘されていた当時の人々の暮らしなど、大地と人が織りなす数々の物語が講師から語られました。受講者は長い年月と大地のダイナミックさに触れて、「スケールの大きさにびっくりした」と感動の声を上げていました。

